

# 平成22年度(2010年度)大学院国際言語文化研究科博士課程(前期課程)

## 日本語文化専攻論述試験問題

次の指示に従って、下記の問題(1~18)から文化系講座は2題、言語・教育系講座は4題を選び、日本語で解答しなさい。解答すべき問題の選択方法は志望講座により異なるので、注意すること。

### I. 文化系講座

(1)第1志望と第2志望が【日本語文化学講座】または【比較日本文化学講座】の場合

【文化系講座共通問題】1~6から2題選択すること。

(2)第1志望が【日本語文化学講座】または【比較日本文化学講座】で、第2志望の講座がない場合

【文化系講座共通問題】1~6から2題選択すること。

### II. 言語・教育系講座

(1)第1志望と第2志望が【応用言語学講座】または【日本語教育学講座】または【現代日本語学講座】または【日本語教育方法論講座】の場合

【言語・教育系講座の問題】7~18から4題選択すること。ただし、

・第1志望講座の問題から少なくとも2題選択すること。

・第2志望講座の問題から少なくとも1題選択すること。

・残りの1題は【応用言語学講座】または【日本語教育学講座】または【現代日本語学講座】または【日本語教育方法論講座】の問題から自由に選択してよい。

(2)第1志望が【応用言語学講座】または【日本語教育学講座】または【現代日本語学講座】または【日本語教育方法論講座】で、第2志望の講座がない場合

【言語・教育系講座の問題】7~18から4題選択すること。ただし、

・第1志望講座の問題を3題選択すること。

・残りの1題は【応用言語学講座】または【日本語教育学講座】または【現代日本語学講座】または【日本語教育方法論講座】の問題から自由に選択してよい。

## I. [文化系講座共通問題]1~6

### [日本語文化学講座]および[比較日本文化学講座]の問題 1~6

1. 伝統文化の継承とその発展については、特別に配慮が払われている国が多い。日本ではどうであろうか。知るところの具体例を挙げ、その特徴およびプラス面とマイナス面についてわかりやすく説明せよ。
2. 漫画とはどのような表現形式であるか、隣接する表現形式(小説、演劇、映画《アニメを含む》など)と比較しながら、その語りの方針に焦点を当てて論ぜよ。
3. 日本では美人を「立てば芍薬(しゃくやく)、座れば牡丹(ぼたん)、歩く姿は百合(ゆり)の花」と形容することがある。このような表現の文化的背景について考えるところを述べよ。なお、芍薬、牡丹、百合は花の名称である。
4. 日本文化の本質について多くの人々がさまざまな立場から論じてきた。例えば、加藤周一の『雑種文化』(1956)、丸山眞男の『日本の思想』(1961)、中根千絵の『タテ社会の人間関係』(1967)、土居健男の『「甘え」の構造』(1971)などがある。このような論を参照しながら、あなたならどのような立場に立ってどのような方法で論じるのか、述べよ。
5. 明治時代以降、多言語主義とマイノリティ(アイヌ、在日外国人、方言使用者など)の言語権をめぐるさまざまな問題が生じてきた。このような言語問題が起きた背景にはどのようなことがあったのであろうか。イ・ヨンスクは、『「ことば」という幻影—近代日本の言語イデオロギー』(2009、明石書店)の中で、下記のように述べている。これを読んであなた自身の考えを述べよ。

英語が第二公用語となるようになるまいと、英語の通用範囲はますます拡大していくだろう。そして、著作権法に定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本 web ページでの公衆送信について著作権者から許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

つくっていくことが、「グローバル/ナショナル」という二極構造をくずしていくひとつのきっかけになるだろう。(230 頁)

6. 平川祐弘は、『アーサー・ウェイリー『源氏物語』の翻訳者』(2008、白水社)の中で、西洋の日本古典文学の受容について下記のように述べている。

まず比較文明的に第一の問題点を大観しよう。西洋を模範と仰いで近代化に努力した日本のエリー

著作権法に定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本 web ページでの公衆送信について著作権者から許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

日本の事物は少数の専門家の研究に委ねられた。(9 頁)

ひるがえって中国の詩とか日本の文学とかは一体いつから芸術作品として西洋に認められたのだら

著作権法に定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本 web ページでの公衆送信について著作権者から許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

なかったからである。(29 頁)

このような考えについて、異文化受容に関してあなたが考えるところを具体的な例を挙げて述べよ。

## II. [言語・教育系講座の問題]7~18

### [応用言語学講座の問題]7, 8, 9

7. 下記の用語から4項目を選択して、それぞれの概要について日本語で説明せよ。

- (1) 遂行文
- (2) 会話の含意
- (3) モダリティ
- (4) 誤り分析(誤用分析)
- (5) 焦点
- (6) 過剰矯正

8. 次に掲げる複合動詞は前項動詞と後項動詞の統語的、意味的關係によっていくつかのグループに分類することができる。その分類の仕方を根拠とともに示せ。

言い尽す 打ち殺す 押し倒す 思い当たる 切り裂く 差し迫る  
積み込む 飛び跳ねる 泣き叫ぶ 読み通す

9. 「はずだ」と「わけだ」の意味、用法の違いについて、それぞれの否定形も視野に入れながら具体例に即して論ぜよ。

### [日本語教育学講座の問題]10, 11, 12

10. 日本語のポライトネス研究において、依頼や断りなどの表現を会話参加者の「上下関係」、「親疎関係」、「FTA」(face threatening acts、相手のフェイスを脅かす行為)の度合いの違いによって分析することがある。その妥当性について、具体例を挙げながら論ぜよ。

11. 日本語教育において、「うるさい」と「にぎやか」の違いを、媒介語を使わずどのように教えるか。初級レベル学習者と上級レベル学習者を対象とした場合それぞれについて、内容と方法を論ぜよ。

12. 韓国語を母語とする日本語学習者について語彙テストを実施し、語彙力の上位グループ36名と下位グループ34名に分けた。さらに、同じ日本語学習者に漢字二字で作られている使用頻度の高・低からなる48語(14年間の朝日新聞のコーパス)の書き取りテスト(ひらがな提示された単語を漢字にするテスト)を課した。

漢字の書き取りテストは、たとえば「食」という漢字の書き取りであれば、語彙使用頻度の高い「食事」(朝日新聞で11,003回の出現頻度)と語彙使用頻度の低い「食通」(同じコーパスで67回の頻度)という条件で「食」の漢字が書けるかどうかについて得点化した。語彙使用頻度の高・低それぞれ24語(合計48語)で、満点はそれぞれ24点である。

結果は、表に示した通りである。2(語彙力: 上位・下位グループ)×2(語彙使用頻度: 高・低)の分散分析を行った結果、日本語学習者の語彙力の主効果が有意であり[F(1,68)=15.05, p<.001]、また語彙使用頻度の主効果も有意であった[F(1,68)=306.71, p<.001]。さらに、両変数の交互作用も有意であった[F(1,68)=6.10, p<.05]。

この結果に基づいて、日本語学習者の語彙力と漢字が含まれる語彙の使用頻度の関係について議論せよ。

(前頁から続く)

語彙使用頻度の高・低の語彙に含まれた漢字の書き取り得点の平均と標準偏差

語彙力	人数	使用頻度の高い語彙		使用頻度の低い語彙	
		平均	標準偏差	平均	標準偏差
上位グループ	36名	12.89	0.75	8.31	0.71
下位グループ	34名	9.74	0.77	3.65	0.73

【現代日本語学講座の問題】13, 14, 15

13. まず、以下の1から4の例文を参考にして、現代日本語の「くだる」の複数の意味を記述せよ。さらに、「くだる」の複数の意味の関係を説明せよ。

- 1 マラソン選手が軽快な足取りで坂道をくだっている。
- 2 この山道はここからしばらく行くと急激にくだっているようだ。
- 3 A氏の研究が日の目を見たのは、やや時代がくだってからのことであつた。
- 4 今回の応募者が100名をくだることはないであろう。

14. 以下の1から5のうち3つを選び、日本語の例をあげて説明せよ。

- 1 音便
- 2 子音(語幹)動詞/母音(語幹)動詞
- 3 相互動詞
- 4 取り立て助詞
- 5 連体詞

15. 音声学の研究では、対象を調音的、音響的、聴覚的に分析する。このことを踏まえて、日本語母音の無声化について分析する際に、どのような実験計画をたてるか具体的に述べよ。

【日本語教育方法論講座の問題】16, 17, 18

16. 日本語教育における自己評価の1形態として can-do statements がある。その利用方法、利点及び問題点をできるだけ詳しく述べよ。

17. 課題重視の言語教授法(Task-Based Language Teaching)の理論的背景を能力観、習得観から述べ、日本語教育における具体例を一つあげよ。

18. eラーニング日本語教材は開発後、実際に教材を学習者に利用してもらい、使用時の感想・意見などを調査するモニター調査が不可欠になってくる。モニター調査を行う際、どのような項目について調査しなければいけないか、またその理由は何かを述べよ。